

記載例 1

(一般向け)

- 記入にあたっては、黒のボールペンまたは万年筆で楷書により丁寧に記入し、消しゴム等でインクが消えるボールペンは使用しないでください。
- 記載内容を訂正する場合は、訂正する部分を二重線で抹消し、正しいものを記入してください（訂正印不要、修正液・修正テープ使用不可）。

平成31年公認会計士試験受験願書 (第I回短答式試験用)

収入印紙貼付
19,500円分(消印しないこと。)

10,000円 4,000円

5,000円 500円

公認会計士・監査審査会会長 殿

平成31年公認会計士試験(第I回短答式試験)を受験したいので申します。

ふりがな かいけい じろう	生年月日 明治 大正 昭和 平成 63年 9月 17日 (年齢 29歳)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇 〇〇アパート 101号 (TEL(自宅) 000-0000-0000) (携帯) 000-0000-0000)	受 験 番 号 関 東 財 務 局 財 務 支 局 第 〇 号 総 合 事 務 局 (記入しないこと。)
氏 名 会 計 二 郎 (楷書で大きく丁寧に記入すること)	性 別 (男) ・ 女	緊 急 連 絡 先 (上記の住所欄の電話番号以外で緊急の場合等の連絡先(電話番号)を記入し、ない場合は「なし」を○で囲むこと。) (勤務先<都省先> その他<なし>) (TEL 000-000-0000)	
旧 姓 (改姓年月 年 月)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">短答式試験免除申請</p> <p style="text-align: center;">※免除を受けようとする場合は必ずチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 短答式試験の一部科目について免除を申請します。 (免除項目等の必要事項を受験整理表に必ず記入すること)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">論文式試験免除申請</p> <p style="text-align: center;">※免除を受けようとする場合は必ずチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 論文式試験の一部科目について免除を申請します。 (免除項目等の必要事項を受験整理表に必ず記入すること)</p> </div> </div>		

(旧姓欄は、受験願書に記載した氏名と添付書類の氏名が異なる場合のみ記入すること。)

(注1) 短答式試験の全科目免除又は旧第2次試験合格者等としてみなし合格の適用を受けようとする場合には、第II回短答式試験に出願してください。
(注2) 本願書では、第II回短答式試験には出願できません。
(注3) 受験願書等に記載等された個人情報は、公認会計士試験の実施及び統計目的以外に使用しませんが、合格者の個人情報については、公認会計士となるための手続における本人確認のために日本公認会計士協会及び内閣総理大臣の認定する実務補習団体等へ提供するほか、当局による意識調査のためのアンケートに使用することがあります。

受験整理表 (別添記載例を参照して記入すること。)

年	受験番号		氏 名 (カタカナ)				②生年月日		③性 別	④職 業	⑤学 歴	⑥論文式試験選択科目														
	①受験局	(記入しないこと。)	(カタカナにより左詰めで書くこと。また、姓と名の間は1字あけ、濁点、半濁点は1字とすること。)				年 号	年 月 日				経 営 学	経 済 学	民 法	統 計 学											
31	01	1	カ	イ	ケ	イ	シ	ロ	ウ	3	6	3	0	9	1	7	1	0	4	0	5		1			

短答式試験 免除項目			
⑦免除を受ける科目	財 務 会 計 論	管 理 会 計 論	監 査 論
⑧免除要件			

論文式試験 免除項目									
⑨免除を受ける科目	選 択 科 目				⑩免除要件				
	会 計 学	監 査 論	企 業 法	租 税 法		経 営 学	経 済 学	民 法	統 計 学

免除通知書番号等	
⑪論文式試験一部科目免除資格通知書番号(平成29年試験分)	⑫その他の免除通知書番号

⑪⑫に該当する場合は免除通知書等のコピーの添付が必要です。

○平成30年論文式試験受験の有無
※いずれかを必ずチェックすること

平成30年論文式試験を受験していない。

平成30年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる。

- 19,500円分の収入印紙を重ならないように貼付。
- 平成30年論文式試験受験者は収入印紙を貼付しないでください。

- 「氏名」及び「生年月日」は、正確に(外国籍の方は在留カードのとおり)誰でも分かるような字で丁寧に記入。
- 受験願書に記載した氏名と添付書類(免除通知書のコピー等)の氏名が異なる場合は、戸籍抄本(原本)を添付。

受験整理表は、受験願書の裏面または受験案内(P28~29)に記載されている「コード番号表」を見ながら記入。

事務局使用欄のため、記入しないでください。

事務局使用欄のため、記入しないでください。

「申込日(受験願書受付期間内の日付に限る)」を記入。

「申込日」現在の年齢を記入。

- 「受験票」「合格証書」等の郵便物が確実に到着する住所(都道府県名省略可)を、40文字以内(ハイフン等も1文字)で記入。

- 郵便番号は必ず記入。なお、マンション等にお住まいの方は建物名と部屋番号も必ず記入。

- 「TEL」は確実に連絡が取れる電話番号を記入。受験願書の記載事項等について、急ぎの照会をする場合があります。

- 本人の連絡先以外の緊急連絡先を必ず記入。

- 「住所」欄の「TEL」以外に緊急連絡先がない場合には、「なし」を○で囲む。

- 必ずどちらかに✓を記入。

- 平成30年論文式試験受験者は、「平成30年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる」に✓を記入し、平成30年試験の受験票(コピー)を添付。

右面も必ず記入すること

※「受験願書(控)」、「写真票」、「受験票」についても必要事項をもれなく記入(「受験票」の裏面も記入してください)。

記載例 2

(会計専門職大学院修了者
(見込者)向け)

- 記入にあたっては、黒のボールペンまたは万年筆で楷書により丁寧に記入し、消しゴム等でインクが消えるボールペンは使用しないでください。
- 記載内容を訂正する場合は、訂正する部分を二重線で抹消し、正しいものを記入してください(訂正印不要、修正液・修正テープ使用不可)。

平成31年公認会計士試験受験願書 (第I回短答式試験用)

—— 必須
----- 該当者
—— 事務局使用欄

受験番号
関東 財務局 財務支局 第 号
総合事務局 (記入しないこと。)

公認会計士・監査審査会会長 殿
平成31年公認会計士試験(第I回短答式試験)を受験したいので申します。

ふりがな 氏名 かいけい じろう 会計 二郎 (楷書で大きく丁寧に記入すること)	生年月日 明治 大正 昭和 平成 63年 9月 17日 (年齢 29歳)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇 〇〇アパート 101号 (TEL(自宅) 000-0000-0000) (携帯) 000-0000-0000
ふりがな 旧姓 (改姓年月 年 月)	性別 (男) ・ 女	緊急連絡先 (上記の住所欄の電話番号以外で緊急の場合等の連絡先(電話番号)を記入し、ない場合は「なし」を○で囲むこと。) (勤務先<都省先> その他・なし) (TEL 000-000-0000)

短答式試験免除申請
※免除を受けようとする場合は必ずチェックしてください。
 短答式試験の一部科目について免除を申請します。
(免除項目等の必要事項を受験整理表に必ず記入すること)

論文式試験免除申請
※免除を受けようとする場合は必ずチェックしてください。
 論文式試験の一部科目について免除を申請します。
(免除項目等の必要事項を受験整理表に必ず記入すること)

収入印紙貼付
19,500円分(消印しないこと。)

10,000円	4,000円
5,000円	500円

(注1) 短答式試験の全科目免除又は旧第2次試験合格者等としてみなし合格の適用を受けようとする場合には、第II回短答式試験に出願してください。
(注2) 本願書では、第II回短答式試験には出願できません。
(注3) 受験願書等に記載された個人情報は、公認会計士試験の実施及び統計目的以外に使用ませんが、合格者の個人情報については、公認会計士となるための手続における本人確認のために日本公認会計士協会及び内閣総理大臣の認定する実務補習団体等へ提供するほか、当局による意識調査のためのアンケートに使用することがあります。

受験整理表 (別添記載例を参照して記入すること。)

年	受験番号 (記入しないこと。)	氏名(カタカナ) (カタカナにより左詰めで書くこと。また、姓と名の間は1字あけ、濁点、半濁点は1字とすること。)	②生年月日				③性別	④職業	⑤学歴	⑥論文式試験選択科目									
			年	月	日	号				経営学	経済学	民法	統計学						
31	011	カイケイ シロウ	3	6	3	0	9	1	7	1	0	8	0	2	1				

短答式試験 免除項目

⑦免除を受ける科目	財務会計論	管理会計論	監査論
1	1	1	
⑧免除要件	0	8	0
	8	0	8

論文式試験 免除項目

⑨免除を受ける科目	⑩選択科目			
	会計学	監査論	企業法	租税法

免除通知書番号等

⑪論文式試験一部科目免除資格通知書番号(平成29年試験分)	⑫その他の免除通知書番号
	0 * * * * *

○平成30年論文式試験受験の有無
※いずれかを必ずチェックすること

平成30年論文式試験を受験していない。

平成30年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる。

⑪⑫に該当する場合は免除通知書等のコピーの添付が必要です。
修了見込者は、条件付免除通知書の右上に記載されている6ケタの番号を記入。

※「受験願書(控)」、「写真票」、「受験票」についても必要事項をもれなく記入(「受験票」の裏面も記入してください)。

●19,500円分の収入印紙を重ならないように貼付。
●平成30年論文式試験受験者は収入印紙を貼付しないでください。

●「氏名」及び「生年月日」は、正確に(外国籍の方は在留カードのとおり)誰でも分かるような字で丁寧に記入。
●受験願書に記載した氏名と添付書類(免除通知書のコピー等)の氏名が異なる場合は、戸籍抄本(原本)を添付。

に✓を記入。

事務局使用欄のため、記入しないでください。

「⑦免除を受ける科目」及び「⑧免除要件」について、右の記載例のとおり記入。

【願書の添付書類】
●修了者は、「公認会計士試験免除通知書」のコピーを添付。
●修了見込者は、「条件付免除通知書」の原本を添付。
●免除資格を取得している試験科目のうち、今回の試験で免除を受けずに「受験する科目」があるときは、免除通知書のコピーまたは条件付免除通知書の「免除を受けられる試験科目」のうち、「受験する科目(免除を受けない科目)」を必ず二重線で抹消。

事務局使用欄のため、記入しないでください。

「申込日(受験願書受付期間内の日付に限る)」を記入。

「申込日」現在の年齢を記入。

●「受験票」「合格証書」等の郵便物が確実に到着する住所(都道府県名省略可)を、40文字以内(ハイフン等も1文字)で記入。

●郵便番号は必ず記入。なお、マンション等にお住まいの方は建物名と部屋番号も必ず記入。

●「TEL」は確実に連絡が取れる電話番号を記入。受験願書の記載事項等について、急ぎの照会をする場合があります。

●本人の連絡先以外の緊急連絡先を必ず記入。

●「住所」欄の「TEL」以外に緊急連絡先がない場合には、「なし」を○で囲む。

受験整理表は、受験願書の裏面または受験案内(P28~29)に記載されている「コード番号表」を見ながら記入。

●必ずどちらかに✓を記入。
●平成30年論文式試験受験者は、「平成30年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる」に✓を記入し、平成30年試験の受験票(コピー)を添付。

右面も必ず記入すること